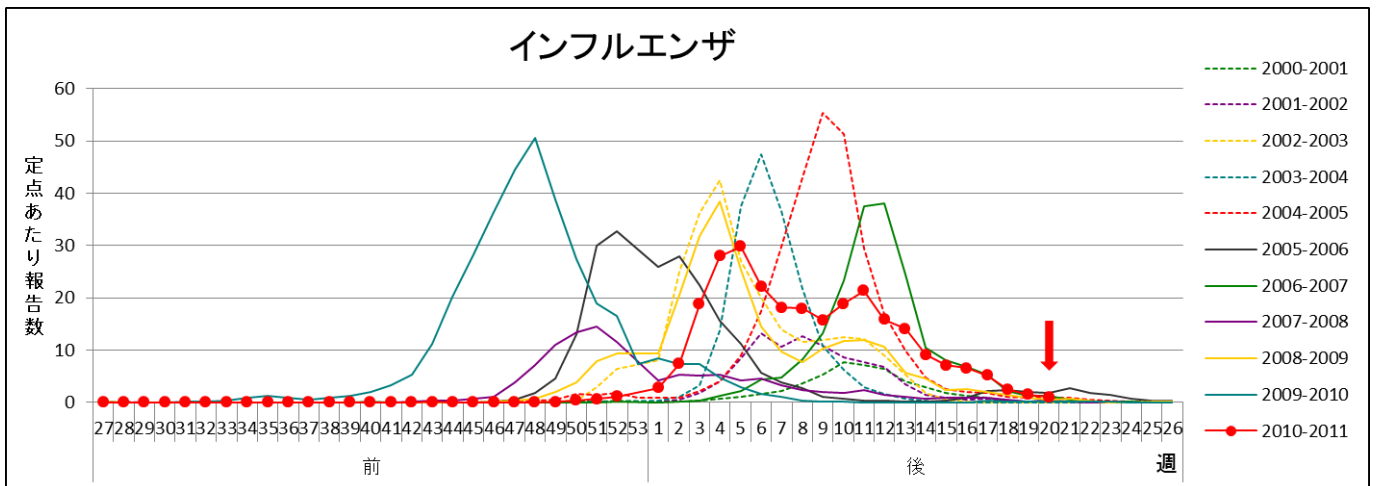


## インフルエンザ情報 2011 年 第 20 週（5 月 16 日 ～ 5 月 22 日）

### 最新の流行状況

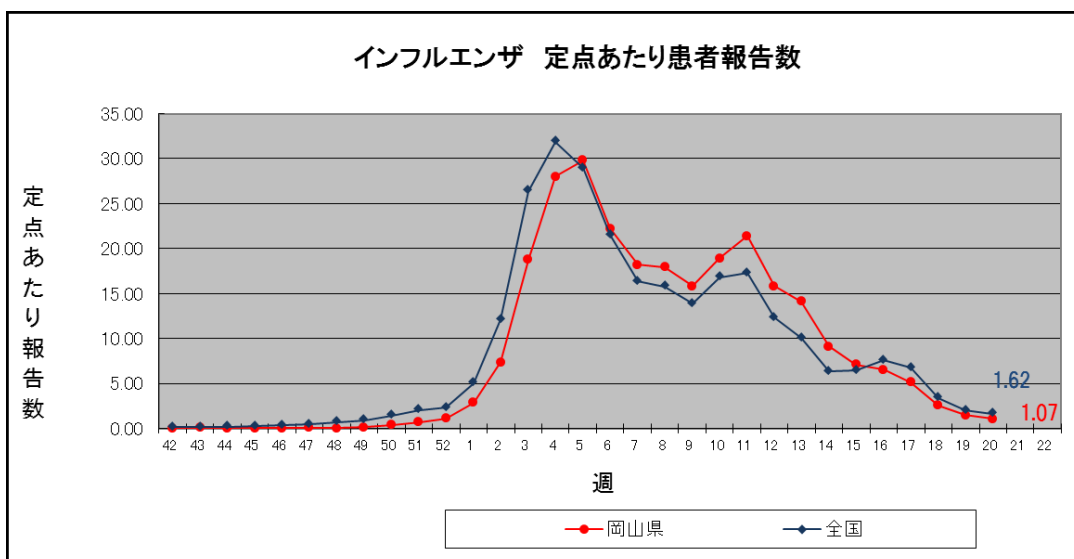
第 20 週（5 月 16 日～5 月 22 日）の県内の定点医療機関（84 定点）からの患者数は、前週より減少しました（123 → 90 人 定点あたり 1.46 → 1.07 人）。全国でも 4 週連続で減少しました（1.97 → 1.62 人）。倉敷市（定点あたり 2.25 人）、真庭地域（定点あたり 4.33 人）では、まだ発生が多いです。ひきつづき、インフルエンザ注意報発令中です。体調管理に気をつけるとともに、手洗い・うがいを心がけましょう。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

### 流行の推移（全国との比較）

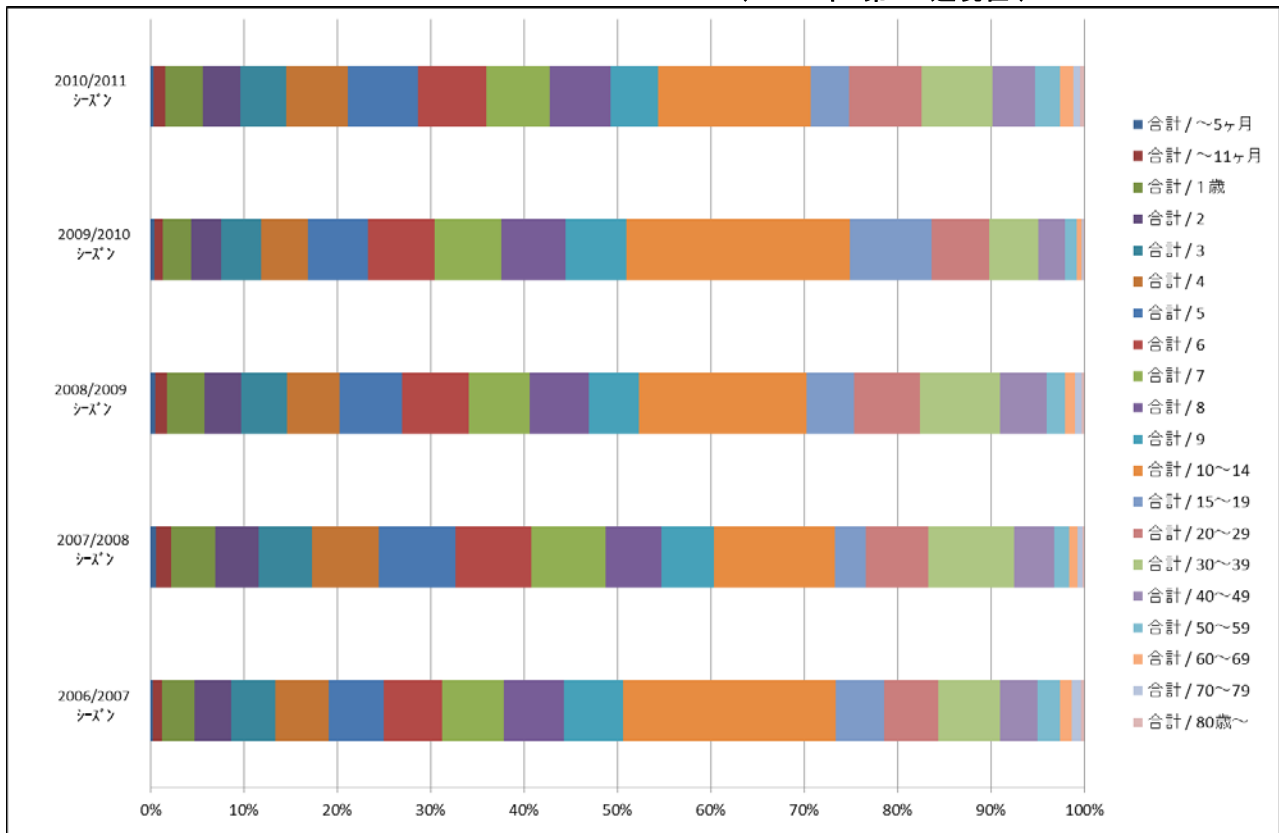
県内の発生状況は、全国と同じ流行の推移を示しています。



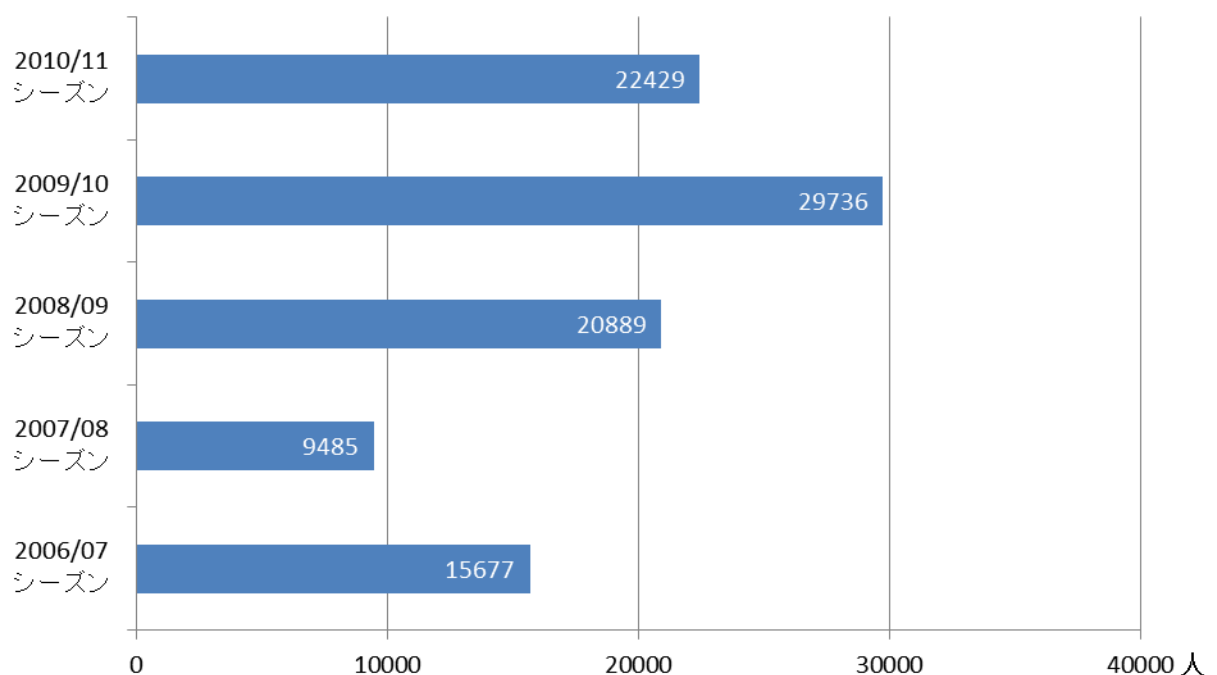
## 発生状況

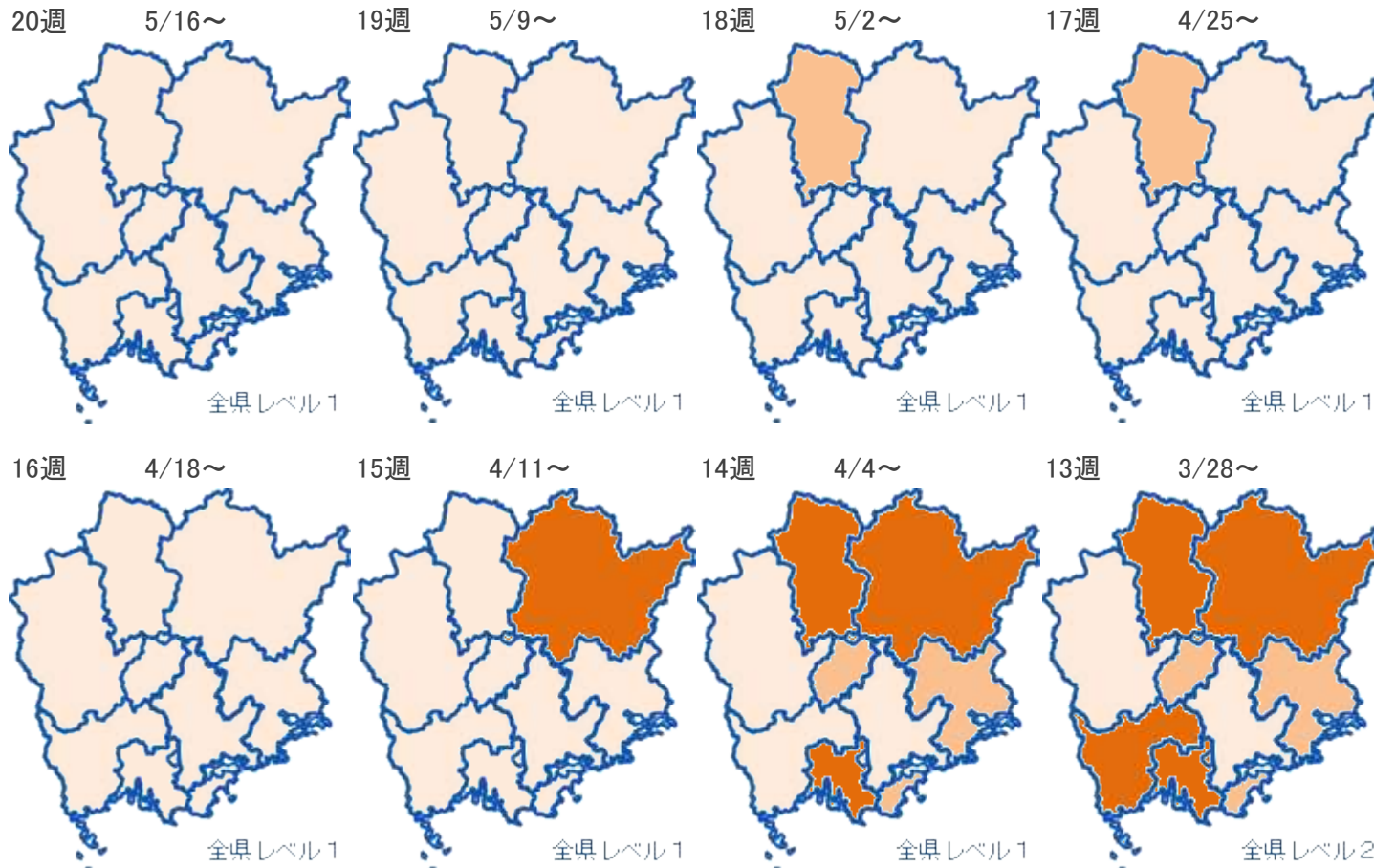
今シーズンの年齢階層別累計の割合は、10～14歳の報告が一番多く（16.3%）、次に20～29歳（7.7%）30～39歳（7.6%）となっています。

インフルエンザ シーズン別発生年齢分布  
(2011年 第20週現在)



インフルエンザ シーズン別患者報告数  
(2011年 第20週現在)





## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。